

## 令和3年度 出資法人「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」事前質問回答票

項番	法人(団体)名	事業・項目名	質問・意見	質問・意見に対する考え方	委員名
21	川崎市スポーツ協会	・スポーツ振興事業 ・指導者育成・派遣事業	引き続きウィズコロナのスポーツ振興及び指導者育成に注力されたい。	<p>スポーツ振興事業と指導者育成・派遣事業は、川崎市と連携を図りながら実施するスポーツ協会の根幹となる事業と考えています。</p> <p>スポーツ協会においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は多くの事業が中止を余儀なくされましたが、令和3年度は大きく回復傾向にありました。</p> <p>今後も、事業を進める上で、感染症対策に万全を期すとともに、講演会や教室、研修などでは、状況に応じてオンライン等を活用しながら、次期方針に基づき、スポーツ振興事業と競技選手強化・指導者育成事業について、目標を達成するべく注力してまいります。</p>	出石委員
22	川崎市スポーツ協会	・正味財産額 ・正味財産収入の増加	コロナ対策を取りつつ、正味財産額の維持や収入の増を図ることが可能ではないか。 まさに民間スポーツ団体の事例を参考に経営改善に取り組まれたたい。	<p>スポーツ協会は、令和元年度決算において、13,285千円の赤字があり、赤字の解消が急務であったことから、令和2年度には、赤字が顕著な事業及び目的を果たし終えた事業を廃止又は共催事業として他の団体に移管するなど見直して、公益目的事業41事業を31事業に削減するなどの事業の効率化を図ってまいりました。</p> <p>このことにより、令和2年度は赤字が解消され、正味財産額が維持できるものと判断しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止を余儀なくされ、赤字決算の解消には至りませんでした。</p> <p>しかしながら、令和3度からは回復傾向にあり、かわさき多摩川マラソンなど収益が見込める事業が実施できれば、令和4年度は収支相償となり、正味財産額も維持できるものと考えております。</p> <p>収入増については、スポーツ協会役員会や民間出身の役員を中心に、収入が見込める事業の可能性を検討し、ご指摘いただいた点も踏まえ、経営改善に取り組んでまいります。</p>	出石委員
23	川崎市生涯学習財団	・生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	令和4年度はコロナ対策を取りつつ目標値達成の目処はあるか。	<p>各種講座・学級の実施にあたっては、引き続き、対面とオンラインとの併用で事業を実施するなど、ICTを積極的に活用していくことで、目標値の達成を目指しているところでございます。</p> <p>令和4年7月15日時点においては、新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ事業を実施することで、事業参加者数が延べ3,400人程度となるなど、順調に実績値を伸ばしているものの、今後の感染症拡大状況により、原則オンライン実施としても一部については、対面でしか実施できない事業もあることから、市民の安心・安全のために中止等の判断をせざるを得ない場合もあると想定しています。</p> <p>また、令和4年度の取組からは、これまで指標としていた事業参加者数のみならず、事業参加者満足度を指標として追加することで、より一層効果的な事業実施につながるものと考えています。</p>	出石委員
24	川崎市生涯学習財団	・自主財源の増加	令和4年度はコロナ対策を取りつつ目標値達成の目処はあるか。	<p>授業料等収入については、アンケート等により市民ニーズを把握することで、既存講座の見直しや新規講座の開講を検討するとともに、施設使用料収入についても、施設利用を促すための広報の拡充や、講座受講修了者への継続的な施設利用を促すことで、自主財源増加のための取組を継続してまいります。</p> <p>令和4年6月末時点においては、授業料等収入が約8,100千円(令和3年度6月末時点約7,700千円)、施設使用料収入が約5,000千円(令和3年度6月末時点約4,300千円)と順調に実績値を伸ばしているものの、今後の感染症拡大状況により左右されるものと想定しています。</p>	出石委員